



特集
山形DC、大江町観光の見どころ

一筆一筆に集中

少年少女書道教室の開講式が4月19日におこなわれ、小学生3年生から6年生まで92名が参加しました。初めて参加する3年生が挑戦した文字は漢字の「三」です。児童たちは、先生の指導を受けながら、一筆一筆集中して書きました。(11ページに関連記事)

平成26年

5

No.639

6/14~9/13

→「大江日和。」



昨年9月、山形DCのイベントとしてSL C11型「山形日和号」が運行されました。約40年前まで実際に左沢線で走っていた機関車だけに、その雄姿を一目見ようと、左沢駅にはSLファンのみならず、たくさんの方が訪れました。

特集

山形DC、大江町観光の見どころ

町の魅力を再確認

「観光」の語源は、中国の古典・易経の「国の光を観る」にあると言われています。休日を利用し、風光明媚な名勝や舌を楽しませる郷土料理、歴史に基づく文化など、その地域で光る名物を観たいという方は多いのではないのでしょうか。今年山形県では、国内最大規模の観光誘客事業である山形デザインেশョンキャンペーン（以下山形DC）が開催されることから、県内各地で観光PR活動が活発化しています。

観光産業は、農業、商工業など地元の幅広い産業を活性化させることから「総合産業」と呼ばれています。また、経済的な効果をもたらすだけでなく、地域の自然、文化、歴史などを見つめ直し、地域に暮らす私たちに自信と誇りを生み出し、魅力ある町づくりにもつながっていきます。今月は山形DCに向けて、大江町の観光の魅力とその取り組みを紹介します。



マスコットキャラの「きてけるくん」

山形DCとは？

山形DCのDCとは、デザインেশョン（目的・行き先）とキャンペーン（宣伝）という意味の造語です。毎年季節ごとに開催され、山形県でおこなわれるのは、今回で10年ぶり6回目になります。

DCが国内最大規模といわれているのは、全国に幅広いネットワークを持つJRグループ6社（JR北海

大江をめぐり **美味しさ** 食文化

観光の一つの楽しみは、その土地ならではの「食」に触れることです。十八才区の小倉交流館では、「何年たっても十八才」を合言葉に、地元の旬の食材を使用する「若返りランチ」を、歴史民俗資料館では、最上川舟運時代の特産品だった青亭あおぞを使用した「青亭御膳」を味わうことができます。

大江町は1年を通して寒暖の差が激しく、その気候を利用して糖度の高い果実を育ててきました。最近ではスモモの生産にも力を入れており、町独自の品種「サンルージュ」は、その鮮やかな紅色と高い糖度から県内外で高い人気をほこります。また、村山地方で唯一の「やまがた地鶏」の生産地としても知られ、その味・歯ごたえの良さから町の新たな特産品として注目されています。

その他大江町は酒造りに適した場所でもあります。月布川流域は、川風や農業用水の温度、日照時間など、よい酒米が作られる条件が整っており、町内のおいしい水とともに作られる地酒「大江錦」は、観光客から高い評価をえています。



▲青亭御膳

▶やまがた地鶏



▲サンルージュ



▲大江錦

今回のPRポイントは3つ

道・東日本・東海・西日本・四国・九州)が総力を挙げ、対象となる地域の宣伝・誘客活動をおこなうからです。その効果は大きく、前回平成16年に山形県で開催されたときは、過去最高の4200万人もの年間観光者数を記録しました。

JR東日本管轄である左沢駅がある大江町もその恩恵を受けやすい条件にあるといえます。

今回山形県では、DC開催に合わせてキャッチコピーを「山形日和。」としました。これには、県内各地で守り育まれてきた、自然、文化、おもてなしなどを通じて、日本人誰もが思いをはせる「ふるさと」の懐かしさや温もりを感じてほしいという思いが込められています。

また、マスコットキャラクターには、山形県のカタチ「人の顔」をモチーフに、山形を訪れる人、山形に住んでいる人の「ほのぼのとした姿」を表現する「きてけるくん」が採用されました。

今回のキャンペーン期間は6月14日から9月13日までです。大江町では「美味しさ(食文化)」、「奥深さ(歴

6月～9月の観光案内

6月 新緑とヒメサユリ

- 5/25 柳川温泉まつり
- 5月下旬～6月上旬 大山自然公園ユリまつり



6/4、8、12、15

JR連携事業ヒメサユリツアー

6/8

大江のうまいもの市・山菜フェア

6/22

第31回正調最上川舟唄全国大会



7月 いつもと違う景観と温泉

7/6

クラシックカーイベント

大江を
めぐる

奥深さ

歴史、景観

江戸時代、左沢は最上川舟運の要衝として知られ、最上川河畔には荷物の積み替え場であった川港があり、経済的な繁栄を町にもたらしました。今でも町内には、原町通りなどその時代をしのばせる景観が随所にあります。また、近世にこの地を防衛、監視するため建てられた楯山城の跡地は、最上川の雄大な流れと左沢のまちなみを一望できる公園として整備され、その眺めのよさから多くの人が訪れています。

最上川舟運によって、大江町から全国に出荷された特産品として青苧あおぞがあります。青苧あおぞから採れる繊維は通気性のよさから、袴かみしもなど高級織物の原糸として取引され、町に大きな富をもたらしました。歴史民俗資料館は、青苧あおぞで財を成した、齋藤半助家を移築したものです。館内には、青苧あおぞ、口ウ、養蚕など昔をしのぶ古い民具農具や青苧あおぞを使用した袴かみしもが展示されています。

平成25年3月、これらの「最上川の流通・往来及び左沢町場の景観」が国の宝として、県内で初めて、東北では3件目となる重要文化的景観に選定されました。



①



②



③

①楯山公園からの眺望（フォトコンテスト奨励賞・芳賀和代（寒河江市））

②青苧で織られた袴（歴史民俗資料館）

③クラシックカー・ミーティング（原町）

数ある観光地の中から大江町を選んでもらうためには、イベントの開催や観光施設の整備だけでなく、地元住民と観光客による人と人とのつながりが大切です。専門のガイドのようには詳しく教えられなくてもかまいませんので、観光客に出会った時は、恥ずかしがらずにあいさつや案内、自分おすすめスポットの紹介など、できる範囲の「おもてなし」を実践しましょう。

町民みんなでおもてなし

史、景観）「楽しさ（自然、祭）」の3つの面からPRしていく予定です。各種イベントとして大山自然公園ユリまつりを皮切りに、正調最上川舟唄全国大会、水郷大江夏まつり大会、大江の秋まつりなど大江町ならではのものを予定しています。

また、山形DC記念として原町通りを舞台に往年の名車がそろったクラシックカーイベントや、土木遺産に選定されている旧最上橋のライトアップ、テルメ柏陵健康温泉館リニューアルオープン、イベント列車の運行なども予定しており、観光客のみならず、町民の皆さんにも楽しんでもらえる内容となっています。

▼9月 色とりどりの秋

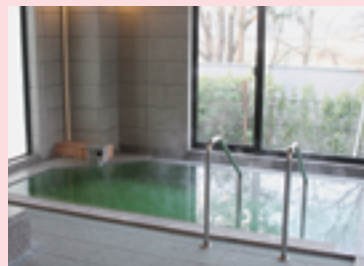
▼9/3、6 JR連携事業 重要文化的景観と青苧を食べるツアー

▼9/7 大江のうまいもの市・フルーツフェア



▼8月 県内最古の花火大会

▼8/10～15 水郷大江夏まつり



▲4/14から仮オープンしたテルメ柏陵健康温泉館新浴室棟

▼7/20 大江のうまいもの市・地鶏フェア

▼7月～9月（予定）旧最上橋ライトアップ

▼7月（予定）テルメ柏陵健康温泉館リニューアルオープン

大江町の歴史で重要な役割を果たした最上川では、毎年8月15日に灯ろう流し花火大会がおこなわれています。これは約90年前に始められ、今では約4000発の花火の打ち上げと、1500個もの灯ろうが川面を彩る一大イベントになりました。山形県内最古の花火大会としても知られ、会場となる最上川河畔には、花火が織り成す光と、川面に浮かぶ幻想的な灯ろうを一目見ようと多くの観光客が訪れます。

山形DC直前のイベントとして6月上旬のユリまつりがあります。会場となる大山自然公園では約6万本のヒメサユリが一斉に見ごろを迎え、その薄紅色の可憐な姿を一目見ようと、町内外よりたくさんの観光客が訪れます。また園内には、地元の花々を見渡すことができる展望塔や広大な芝生広場、遊歩道、コテージがあり、ヒメサユリの後も四季折々の自然を楽しむことができます。

①灯ろう流し花火大会

②ヒメサユリ（大山自然公園）



また、私たち住んでいる者にとつて、町は日常的な光景という意識が強く、その魅力を見過ごしがちな自分なりの「おもてなし」のためにも、もう一度町の見どころを楽しみながら見て回り、魅力を感じたところを把握しておくことが大切です。DCをきっかけに町の観光の良さを再確認し、それを訪れた方に教える「住んでよし、訪れてよし」の町づくりを進めていきましょう。

昔の物語が色濃く残る、
それが大江町の魅力です



大江町観光物産協会
会長 石川 博資 さん

町内には、舟運当時の歴史や文化、暮らし、先人の生業、そしてそれらに魅了された文化人の軌跡などが、観光名所やまつりという形で今でも残っています。これら昔の物語が残っている地域は、意外に少なく、これこそが大江町の観光の魅力だと思います。

観光客の皆さんからはぜひ大江町にお越しいただき、その魅力に触れてもらいたいです。また、観光で印象に残るのが、地元住民とのふれあいです。町民の皆さんには山形DCをきっかけに、さらに町の魅力を知ってもらい、自信をもって語ってほしいですね。

※このほか、期間中にイベント
列車の運行も予定しています。
※日程、内容が変更となる場合
があります。



▼ 9 / 21 大江の秋まつり

2013 大江の景観 フォトコンテスト

昨年、大江町の景観が重要文化的景観に選定されたことを受け、景観に対する関心を高めてもらおうと、「第1回大江の景観フォトコンテスト」が開催されました。

全184作品の応募をいただき、2月26日の審査会を経て、入賞作品22点が決定されましたのでその一部をご紹介します。

大賞受賞者
コメント

大賞

「初冬の風景」

田中 時雄 (千葉県)

このたび、大江町の景観フォトコンテスト大賞に選考いただきありがとうございます。私の作品が、18歳まで育てていただいた故郷大江町のPRへ少しでもお役に立てれば幸いです。

毎年、女房の実家を訪れた際は、楯山公園に立ち寄ります。写真はその時に撮影したもので、配色は白い雪の上に落葉した紅葉を、背景は晩秋の町並みにしました。秋が終わりこれから厳しい冬をむかえようとしている左沢を感じとっていただければと思います。



田園と山村、山の風景部門・部門賞

「田植えの頃」 佐々木修 (山形市)



最上川と街の風景部門・金賞

「ホワイトクリスマス」 庄司静子 (大江町)



最上川と街の風景部門・部門賞

「華麗に咲く」 清水幸雄 (山形市)



田園と山村、山の風景部門・金賞
 「馳せ掛け」 佐竹吉廣（寒河江市）



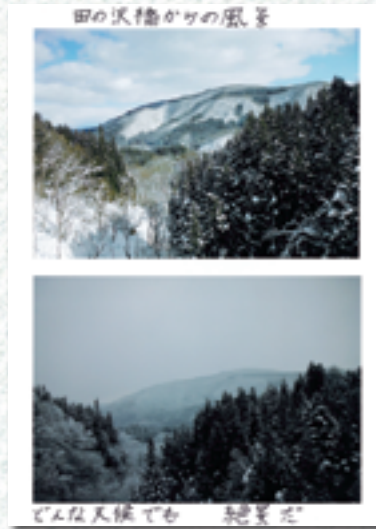
フォトエッセイ部門・部門賞
 「大江の夏物語」 清水幸雄（山形市）



フォトエッセイ部門・金賞
 「蔵」 三浦晶恵（山形市）



▲ 3月25日の表彰式の様子



▲ジュニアの部・金賞
 「杉」 楠ヶ谷誠二（大江町）

◀ジュニアの部・金賞
 「絶景」 楠ヶ谷源一（大江町）

志村直愛
 なおよし
 審査委員長より

フォトコンテストには、美しい写真に対する感動もさることながら、町の新たな魅力の発見も期待できます。応募作品は、それぞれが季節や時間、撮影場所など、趣向を凝らして景観をとらえており、審査を通じて今まで以上に大江の景観の幅広さを実感することができました。

山間部の風景には珍しい植物や動物の姿、田園と山村の風景では、自然と人、生業との関わり方が巧みに表現され、この町の景観のバリエーションの豊富さ、奥深さを再認識できました。

入賞された作品には、写真としての美しさのみならず、ある瞬間を切り取るこだわりや主張が特に強く表れており、「ああ、みんなこの町が誇りであり、大好きなんだな」と、たくさんの方々に愛される町、大江がますます魅力的に感じられる審査となりました。



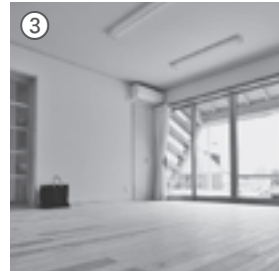
■西山杉材を使用した憩いの場完成 ～美郷地区コミュニティセンター供用開始～

美郷地区コミュニティセンターが4月1日から供用を開始しました。

この施設は、林業振興としたさまざまな活動の拠点として昨年11月から工事を開始しました。地元産西山杉が多用されているほか、自然風を取り入れる吹き抜け式のメインホールや、木質の固形燃料を使用するペレットストーブが設置されるなど、環境に配慮した構造となっています。

4月13日には、センター内で供用開始を記念する祝賀会が開催され、前区長の石澤六男さんは「美郷区の皆さまと関係者のご協力により素晴らしいコミュニティセンターが完成しました。たくさん活用して地域の活性化につなげていきたい」と供用開始の喜びを語りました。

美郷地区コミュニティセンターの利用時間と料金は右記のとおりです、お気軽にご利用ください。



- ①正面玄関
- ②メインホール
- ③小ホール
- ④ウッドデッキ

【利用時間および料金】

- ①時間：9時～13時、13時～17時、17時～21時
- ②利用料金：各時間1,000円(全日3,000円)
- ※美郷区組織およびその関係団体、美郷区民は無料
- ※営業目的の場合は指定する料金の2倍
- ※冷暖房を使用する場合は、各時間帯で500円を加算



■鳥獣から町を守る～鳥獣被害対策実施隊～

野生鳥獣による農林業被害の深刻化・広域化が懸念されることから、町ではさまざまな鳥獣被害に対応するため、鳥獣被害対策実施隊を組織し、4月11日、関係者に委嘱状を交付しました。

また、町、JA、猟友会などによる鳥獣被害防止対策協議会も設立されました。今後は各機関が連携してより効果的な対策を協議していく予定です。また、鳥獣被害防止対策協議会では猟友会会員の減少や高齢化への対策として、狩猟免許取得や狩猟登録の経費を一部負担するなど捕獲体制の充実も図っていく予定です。

■子育て世代向けの住宅着工～西原住宅F棟安全祈願祭～

町営西原住宅で6棟目となるF棟の新築工事にあたり4月16日に、安全祈願祭がおこなわれました。

F棟は、E棟と同様、西山杉をふんだんに使用した1棟3世帯の木造平屋建てで、1戸当たり2LDKと面積にゆとりを持たせた、子育て世代に適した住宅となっています。また、F棟の新築工事に合わせて駐車場の整備もおこない、1世帯2台分のスペースを確保する予定となっています。工事完了は、8月末を予定しています。



平成
26年度

大江町消防団 春季消防演習

消防庁長官表彰

- ◎永年勤続功労章／渡辺 勉
- ◎永年勤続退団者／鈴木 茂、菊地啓司、松田久仁実、池田広志、松田通、金山 浩、伊藤健二、海野 晋、菊地和之、鈴木由紀男、林 和憲、伊藤憲広、柏倉邦雄

山形県知事表彰

- ◎永年勤続退団者／鈴木 茂、菊地啓司、松田久仁実、池田広志、松田通
- ◎金条章／第3分団第2部
- ◎功労章／林 善昭、早坂和彦、松田秀樹、柏倉淳吉

- ◎功績章／最上健介、菊地俊一、漆畑諭、古口 修
- ◎精錬章／西田正広、清野邦宏、庄司信也、渡邊寛寿

日本消防協会会長表彰

- ◎竿頭綬／大江町消防団
- ◎精績章／渡辺 勉

山形県消防協会会長表彰

- ◎優良章／蓮沼 徹、伊藤幸紀、海野裕也、石川洋光、菊地 哲、柏倉淳吉
- ◎永年勤続25年／松田文明、柏倉栄一
- ◎永年勤続20年／伊藤武敏、柏倉淳吉、柏倉生一、柏倉 修



平成26年度の大江町消防団春季消防演習が4月27日開催されました。会場となった左沢小学校および内町横町通りでは、消防団員による消防操法、一斉放水訓練、分列行進、幼年消防クラブによる訓練が披露されました。

演習終了後には、ふれあい会館において消防活動に功績があった方々が表彰されました。

◀人員・姿勢服装の点検

- ◎永年勤続15年／菊地拓朗、蓮沼 徹、石川洋光、佐竹秀一、堀 浩哉、渡邊哲男、伊藤光信、公平和志、小野 毅、柏倉則夫

山形県消防協会西村山支部長表彰

- ◎優良分団／第4分団第3部
- ◎優良団員／佐藤勇一、柏倉浩治、伊藤真一、菊地洋幸、佐藤寿薫、大泉徹朗、渡邊和昭、柏倉正志、鈴木孝仁、菊地政輝、北本一考、櫻井鉄平、林貴範、横山智康、柏倉智史、庄司光幸

大江町長表彰

- ◎優良団員／佐藤裕和、佐藤太相、金山 暁、五十嵐満、鈴木裕也、菊地智、柏倉浩治、工藤和明、池田朋治、大泉秀一、柏倉正志、柏倉孝行、東海林俊広、奥平 彰

大江町長感謝状

- ◎内助の功労者／大泉登子
- ◎大江町消防団長表彰
- ◎優良機関／第2分団第6部、第4分団第3部（敬称略）



▲地区民による簡易消火栓を使用した初期消火訓練



▲分列行進



▲消防操法



▲一斉放水



1

3/30 郷土の昔話を多彩に表現

町内に伝わる昔話や民話などを感情込めて語る「とんと昔のつどい」が30日、ふれあい会館で開催されました。

前半は、おおえ昔語りの会（渡辺シカ子会長）により、人間が他の動物より長生きする理由を紹介する「寿命の話」やキツネからだまされたおばあさんの話「なっとばんちゃ」などが語られたほか、山形市、上山市、寒河江市の昔語りの会により、各地に伝わる昔話が披露されました。

後半は、おおえ昔語りの会と鶴岡市を拠点に活動する劇団夢一座（夢京之助座長）が共同で昔話を披露しました。かつて堂屋敷地区の山中にあった沼を題材とした「琵琶沼物語」では、夢京之助さんが、沼に住む尼が琵琶を鳴らして雨を降らせ、田畑を潤したという話を情熱的な踊りで表現しました。

このほか、夢一座による舞踊ショーなども披露され、演目が終了すると会場からは大きな拍手が沸き起こりました。

- ①琵琶沼物語的一幕
- ②「なっとばんちゃ」を語る加藤春江さん（4区）
- ③とんと昔上山会は奇習「加勢鳥」を披露



2



3

4/8 上級生に迎えられ、小学校生活スタート

春を感じさせる暖かい日差しの中、4月8日に町立小学校の入学式がおこなわれました。

左沢小学校では、上級生が準備した花のアーチで新入生43名を出迎えました。

伊藤順一校長先生は「分からないことがあった何でも聞いて、いっぱい学び遊んでください」とあいさつしました。また、児童代表として2年生



が、楽しい学校生活の説明や鍵盤ハーモニカの演奏を披露し、新入生は楽しそうに聞いていました。

最後に新入生全員で「一年生になったら」を歌い、入学の喜びをみんなで分かち合いました。



4/3 リズムに合わせて楽しく体作り

自分の運動能力に合わせて、好きなスポーツ教室を選ぶことができる、大江スポーツクラブO-STEPで2つの新しい教室が始まりました。

4月3日から始まったストリートジャズダンスは、ダンスを通じて、踊る楽しさと、力強くしなやかな体づくりを目指します。当日は、渡辺敦子先生指導の下、音楽に合わせてながら柔軟体操、ステップのやり方などを実践しました。

このほか2本のポールを使い運動するノルディックウォーキングを5月19日から開催します。皆さん奮ってご参加ください。



4/14 町内初の急速充電器が設置

国道287号線沿いに位置する道の駅おおえに、町内初の電気自動車用急速充電器が設置され、4月14日に始動式がおこなわれました。

急速充電器は電気自動車による広域移動を支援するために、町が整備しました。式では渡邊町長が「環境問題が深刻化する中、解決の一助にしたい」とあいさつし、続いて道の駅おおえの指定管理者代表である新関一利氏が電気自動車へ充電をおこないました。急速充電機器は1回500円で30分間充電することができます。ご利用の際は道の駅おおえまでお声掛けください。



4/6~15 交通事故の無い明るい町に

自動車、歩行者、自転車の行動が活発になるこの時期の交通事故を防ごうと、4月6日から15日まで春の交通安全県民運動が実施されました。

4月9日には町内3か所で街頭指導があり、通勤・通学者に、飲酒運転の撲滅やシートベルトの着用、安全な横断歩行を呼びかけました。

昨年、町内では交通事故が18件発生しました。街頭指導後には八幡神社で交通安全祈願祭がおこなわれ、町民一人ひとりが署名した交通安全の宣誓書が奉納されるとともに、関係者全員で交通事故の無い明るく住みよい町を祈願しました。



4/27~29 3日間で297.4キロ駆け抜ける

地元の期待を背負い、春の山形県内を駆け抜ける、第59回山形県縦断駅伝競走大会が4月27日から29日にかけておこなわれました。

今年大江町からは、清野大地さん（堂屋敷）、菊地春紀さん（深沢）、古澤哲平さん（諏訪原）、佐藤和也さん（蛍水）、大沼翼さん（美郷）の5人が寒河江西村山チームに選抜されました。遊佐町の月光橋から山形メディアタワーまでの28区間297.4キロを3日間で走破するこの大会で、各選手は与えられた区間を必死に走り抜け、2日目には見事3位に輝きました。



4/19 昇段めざし、一筆入魂

書道を通じて青少年の健全な育成を推進する、少年少女書道教室が4月19日から始まりました。

この教室は毎週土曜日に開催され、20名の指導者・推進員の指導の下、東邦書道会の例月課題に取り組みながら昇級（段）を目指すものです。

書道は、とめ・跳ね・払いなど基本的な筆遣いを覚え、正しい姿勢で何度も書いて練習することが大切です。初めての受講となった3年生は、清野昭一郎さん（十八才）をはじめ16名の先生から、筆の持ち方や姿勢、筆遣いなどの指導を受けました。

「理解し分かれる」と「理解し分らない」の区別は難しいと思う。

パラリンピックのペアとは？集团的自衛権とは？DCとは？ひらがな・カタカナ・漢字・ローマ字…

「音と文字」が短くも、長くもなる。「言葉は使い手によって進化する」と言われても、その通りとは言いたくない。「不理解」を当たり前だと言ってしまうは、「言葉の海」の中で迷子になってしまうのではないか。

集团的自衛権の「的」もかなり分かりにくい。その中で行使されたらどう「分かればよい」のか、少々を越えた不安がある。気張らずに、誰にでも理解し合える言葉で、時間を重ねて語り合うのが、一番大切なかもしれない。

言葉には「曖昧さ」があるからこそ、さまざまな解釈によって、意味が膨らんだり縮んだり、心のなかで踊りだしたりして、人生を豊かにする力がある。反面、力があるからこそ、使い方が難しい。

「民主主義では、ものごとを決めるのに、時間をかける必要がある」と意味深い言葉だと思つ。

大江町長 渡邊 兵吾

左澤重要文化的景観

シリーズ企画 町の魅力発見！ vol.11

左沢の南、ふれあい会館西側に八幡神社があります。江戸時代、ここには松山藩の米蔵があり、最上川舟運によって運ばれた米はここに納められていました。その後、明治16年に現在の駅付近にあった左沢の八幡神社がこの地に移転され、さらに郷社の社格（神社の格付）を得ると、疫災から左沢全体を守護する神社として祀られるようになりました。毎年9月には、八幡神社の例大祭の時期に大江の秋まつりが開催され、当日境内は囃子屋台、獅子踊り、神輿などでまつり一色となります。

境内には、八幡神社のほか、松山藩初代から3代を祀った酒井神社や水上安全の神である金毘羅の石碑もあり、信仰の場だけでなく、最上川舟運時代に重要な場所だったことを感じとることができます。



酒井神社

八幡神社



簡易マップ



● 短歌 ●

歳重ね四季折々の追想に浸りつ捲る古きアルバム

悲しみを乗り越えたりし玄関に鉢植えの花思い出に見ゆ

雪解けの水は湖沼を満々と巡る冬の夜にはや鶯の声

彼岸入り花を供えて亡き夫の友と語りし仕草を想う

雪解けの下に顔出すチューリップ孫も喜び歌口ずさむ

古筆笥の中より出し父の文は候文に書かれてありき

自らを律せんとして過ぎしけり職退きしこの春からは

夫婦ぐらし話は盡きて静かなり時おば告げるうたと聞こゆる

年に一度賀状を交すのみの友今年は遂にそれも絶えたり

積む雪に路せまければ妻の手をしっかりと握りクルマ通せり

● 俳句 ●

雪上競技歓喜と感動春隣

春キャベツ長い冬をも耐えにけり

ボカ陽気春風招く戸を開く

見なれたる庭木の芽吹き退職す

児の息災願う合掌柏餅

雪とけて花の回廊最上川

畦道の陽を見て昇る土筆かな

菅井 妙子

菅井 妙子

松田 靄

松田 靄

菊地つねよ

堀 トヨエ

堀 トヨエ

長岡かつ子

長岡かつ子

佐竹 麗子

佐竹 麗子

山家 重之

山家 重之

佐竹 與鼓

佐竹 與鼓

伊藤 和子

伊藤 和子

斎藤 徳治

斎藤 徳治

菅井 妙子

菅井 妙子

林 忠逸

林 忠逸

鴨田富士夫

鴨田富士夫

山家 重之

山家 重之

今井 茂樹

今井 茂樹

阿部 一風

阿部 一風

松田 靄

松田 靄

秋元喜一郎

秋元喜一郎

安藤由美子

安藤由美子

斎藤 徳治

斎藤 徳治

熊谷 勉

熊谷 勉

舟山 三男

舟山 三男

伊藤 啓泉

伊藤 啓泉

吟遊浪漫

ぎんゆうろまん

※このコーナーに掲載ご希望の方は、毎月20日(必着)まで 役場総務課に作品をお寄せください。



Youthful トーク

「不良品0%を目指し、製造過程の改善策の考察や指示をおこなっています」と話す石塚さん、現在は山形市内でミシンを製造している鈴木製作所に勤めています。

高校卒業と同時に今の職場に就職し、外国の工場から納品されてくる部品に不良品がないかを検査する品質管理の部署に配属されました。最初の頃は複雑な検査方法が覚えられず、間違いをするたびにノートを取り、一つ一つ覚えていったそうです。

日々の楽しみは、友人と遊び、酒を飲むことで、特にビールは1日の5リットル飲むこともあるとのこと。

就職して4年目をむかえた石塚さん、「機械検査の検定に向けて勉強中です。製造過程に関係する多くの知識が求められますが、仕事の合間を縫って若いうちに取得したいですね」と今後の目標を語ってくれました。

石塚 いしづか

直輝さん なおき

(21歳・藤田)

不良品0%に向けて日々努力

地域おこし協力隊通信

No. 1



縁側に腰掛けるのが気持ちいい季節になりました。大江町地域おこし協力隊の石坂康平です。出身の横浜を離れ、大江町での生活も早く3年目です。

この5月号から、山間部に住んで感じた山や生活の魅力、そして僕が思ったことを誌面の中で素直

に伝えていけたらいいなと思います。

さて今回、4月21日から「大江町地域おこし協力隊オフィス～縁がわ～」をオープンしました！場所は、元柳川そば屋と聞くとピンと来る人も多いのではないのでしょうか。そう、柳川温泉のすぐ隣です。

このオフィスは、自宅の縁側と和室を、地域おこしの活動拠点兼地域の方などのお茶飲み場として解放しています。今後は、木工細工の展示や人の想いと笑顔が詰まった映像作品の上映、薬草茶などの提供もおこなっていく予定です。

この町に散りばめられている自然の利用方法や山の魅力を多くの人から教えてもらい、そして町内外の人に情報発信していきますので、ぜひ遊びに来てけらっしいね！（あっごんたら、お茶菓子もたがってきてけろっす）



～縁がわ～の外観です



この日はコシアブラと啓翁柁が話題に



▲昨年の町民号は、宮城県南三陸町を訪れました

お知らせ

Information

第34回「大江町民号の旅」 参加者募集！

大江町民号の旅は、さまざまな名所を巡りながら町民同士の親睦を深めるとともに、JR左沢線の利用拡大を目的に実施しています。34回目の今年は、春のデスティネーションキャンペーンの舞台である新潟県を訪れます。ぜひ、ご参加ください。

- ◆期日／6月29日(日)～30日(月)
- ◆行先／新潟方面（弥彦神社、寺泊の鮮魚市場など）
- ◆宿泊地／月岡温泉
- ◆旅行代金／33,800円

※大江町公共交通機関利用促進協議会から3,000円相当のお土産を

差し上げます

- ◆募集人数／40名（最少催行30名）

※詳しい日程を掲載した申込みチラシは、5月下旬のお知らせ版と一緒に町内全戸に配布します

※お問い合わせは、大江町公共交通機関利用促進協議会（政策推進課 策推進係内） ☎(62)2118まで

第2回大江のうまいもの市 出店者募集

大江町のいいもの、うまいものを町内外に幅広く発信する「大江のうまいもの市」を次のとおり開催しますので、出店者を募集します。

- ◆日時／7月20日(日) 10時～14時30分
- ◆場所／左沢駅前広場
- ◆出店要件／大江町内の企業、商店、個人および団体で実行委員会が認めるもの ※出店料は無料ですが、抽選会の景品（2000円相当）の提供をお願いします

- ◆募集締切／5月21日(水)

※お問い合わせは、大江町商工会 ☎(62)4128、または政策推進課 ☎(62)2139まで

朝日少年自然の家 「ブナの森探検隊」のご案内

- ◆期日／6月7日(土)～8日(日)

大江町のキャッチフレーズ募集

町誕生55周年を記念し、大江町の人や自然、景観、産業などを的確に分かりやすく表すキャッチフレーズを募集します。ぜひ、皆さまに愛されるキャッチフレーズをご応募ください。

- ◆募集方法／応募用紙を使用するか、官製はがきまたはFAX、電子メールにより必要事項を記載し、下記応募先まで送付ください

- ①規定…20字以内の文字数で、大江町を広くPRし、町のイメージに合ったキャッチフレーズである
- ②応募点数…1人1点
- ③記載事項…キャッチフレーズとその説明、住所、氏名、年齢、電話番号

- ◆募集期間／6月6日(金)必着

- ◆賞金／特選1点(賞金3万円)、佳作3点(賞金1万円)

- ◆審査／①応募のあったキャッチフレーズを10点程度に絞り込むための一次審査をおこないます②絞り込んだキャッチフレーズの中から投票形式により、キャッチフレーズを決定します

- ◆発表／広報おおえ8月号、町ホームページ等で発表します

※キャッチフレーズの採用にあたっては、応募作品を修正して使用する場合がありますので、あらかじめご了承ください

※お問い合わせ、応募先は、政策推進課「町のキャッチフレーズ係」〒990-1101 大江町大字左沢882-1 ☎(62)2118、Fax(62)4736、

E-mail kikaku@town.oe.yamagata.jp まで

これまでの町のキャッチフレーズ

- 昭和57年1月発表
「フルーツとニットで伸びゆく舟唄の町大江」
- 平成11年8月発表
「あじさい薫る いで湯の里」

- ◆場所／朝日少年自然の家(大江町)
- ◆内容／キャンプや月山ブナの森を散策します

- ◆対象・定員／小学3年生～中学生と家族、42名 ※小学4年生以上であれば子どもだけでも参加可能

- ◆費用／1人2500円

- ◆申込期限／5月27日(火)

※お問い合わせは、山形県朝日少年自然の家 ☎(62)4125まで

河北病院で「休日・夜間の小児診療」を再開します

今回医師会や近隣の病院、関係自治体協力の下、小児科医の減少に伴い休止していましたが「休日・夜間の小児診療」を6月1日から再開しますのでお知らせします。また、受診の際は次の4点についてご留意ください。

町政施行55周年記念事業

本町が誕生してから今年の8月20日で55周年を迎えます。これに伴い、次のような55周年記念事業をおこない、町民の皆さんと共に町誕生55年をお祝いしたいと考えています。55周年記念事業へのご協力をお願いします。

| 事業名 | 期日(予定) | 内 容 |
|-----------------------|--------------------|-----------------------------|
| 町の新キャッチフレーズ募集 | 8月7日(木) ※発表 | 募集締切6月6日(金) 広報おおえ8月号にて発表 |
| 町勢要覧発行 | 8月7日(木) | 全戸配布、町の概要や統計情報などの冊子 |
| 水郷大江夏まつり 灯ろう流し花火大会 | 8月15日(金) | 旧最上橋ライトアップや記念花火の打ち上げなど |
| 大江の秋まつり | 9月21日(日) | 囃子屋台、獅子踊など |
| 第14回町民大運動会 | 10月12日(日) | 各支部対抗 |
| NHKラジオ番組 真打ち競演 収録 | 10月18日(土) | NHK第1放送番組 体育センターを会場に開催 |
| 第45回文化祭 | 11月1日(土) ～3日(月) | ステージ発表、展示発表など |

※各事業については、詳細が決まり次第改めてお知らせします。

①受診前に救急室受付に電話下さい
②原則、内科・外科・整形外科などの小児科以外の医師が診察します
③2歳以上のお子様を対象です
④診察により小児科医の診察が必要と判断した場合は、小児科医のいる他の救急病院を紹介します(なお、ケガなどを除き、救急車での小児急患の受け入れは原則できませんのでご理解願います)

※お問い合わせは、山形県立河北病院救急室受付 ☎(73)3131まで

自動車税の納期限は
6月2日(月)です

お近くの金融機関、郵便局、各総合支庁税務担当課、コンビニエンスストアのほか、インターネットを利用してクレジットカードでも納めることができます。みなさん、忘れず

に期限まで納めましょう。
※お問い合わせは、村山総合支庁課
税課 ☎023-621-8256まで

一日人間ドック、ミニドック
(総合健診)を受診しましょう

生活習慣病は、自覚症状がなく進行し、放置すると大きな病気につながる恐れがあります。自分の健康状態について正確な知識を持ち、適切な管理を続けるためにも、年に一度必ず健診を受けましょう。

【クーポン券をご利用ください】

大江町国民健康保険に加入されている方で、平成26年4月1日時点で満39歳、満40歳、満45歳、満50歳、満55歳、満60歳、満62歳(この場合は任意の一年齢)の方については、1日人間ドック(二部がん検診含)が2500円、ミニドック(一部がん検診含)が2000円で受診できます。対象者にクーポン券をお送りしますので、ぜひ受診ください。

【電話で受診をお勧めしています】

今年度、町の健診を申し込んでいない大江町国民健康保険加入の40歳～74歳の方に、町で委託している在宅保健師が、電話で健診受診をお勧めしています。申し込みを忘れている方、これから受けてみようと考えて

いる方は、ぜひお申し込みください。
※お問い合わせは、健康福祉課保健衛生係 ☎(62)2114まで

左 澤重要文化的景観と書かれたのぼり旗約300本が、町内各所に設置されました。4月18日に左沢高校の2年生と観光ボランティアガイドの会、町民の皆さんが協力して設置したものです。

私は広報係に配属される前は観光係にいましたが、一度にこれだけののぼりを設置したことはありません。山形DCに向けて町のおもてなしの心が垣間見えます。DC期間は6月から9月ですが、この期間中は大江町の観光が最も盛り上がる時期でもあります。6月のユリまつり、8月の夏まつり、9月の秋まつりと大きなイベントが開催されるほか、今年は7月にテルメ柏陵健康温泉館のリニューアルオープンや旧最上橋のライトアップ、クラシック・カーイベントも予定しており、毎月見どころ満載のDCとなりそうです。ただ、イベントだけでなく地元「おもてなし」が大切です。私も観光係の経験を活かし、困っている観光客には積極的にサポートしたいと思っています。



編集後記
(山家雄志)



陶芸教室作品展

リレー随想／ 《第83回》

日本百名山

昨年秋、飯豊山に登り日本百名山全てを登ることができた。思えば定年になり何を目的に生きたらよいか迷っていた。夕方になるとグラス片手に酒を飲む毎日、「これではダメだ」と思い色々と考えていたところに、友人から深田久弥の日本百名山をすすめられ、読んでいくうちに目標が見えてきた。

私は狩猟を50年経験し、特にクマ猟を多くこなしてきたことから

山の怖さは、いくばくか知っている。注意しなければならぬのは、雪渓を横切るとき、一度滑ってしまつと一番下まで止まることなく落ちてしまう。雪崩もそうで、音以外に風の流れて予測することもある。あとは寒さ対策だ。5月の連休中でも登山中に吹雪になる場合があるため衣類の準備が欠かせない。登山用具店で色々と吟味して買い求めた。

山歩きは猟をしたり、山菜やキノコ採り、イワナ釣りなどをしたりと、とても楽しかった。

北アルプスには63才の時に挑戦した。最初に剣岳に登り、険しい崖壁が数多くあったが、登山道には鎖などが設置され登りやすくなっていたので、それほど苦労しないで登ることができた。逆に南アルプスでは登山口が分かりにくく、水場も少ないため苦労した。65才で北アルプスに挑戦した時は体調がすこぶる良く、1週間で槍ヶ岳、常念岳、焼岳、乗鞍岳、薬師岳、黒部五郎岳を登って帰ってきた。

北海道の幌尻岳には9月の中旬にいった。川を14回も渡ることにとなり、また、途の中カール（水河の侵食によってできた広い椀状

の谷）でヒゲマ3頭を見かけた。その後13時間程歩いてたどり着いた山小屋では、管理人との楽しい話を肴に酒盛りをしてきた。

日本の山は皆良かったが、やはり富士山が一番のうな気がする。あと、槍ヶ岳と四国の石鎚山はとても感動的だった。

足かけ10年かかったが、全て自分の車で行き登ってきた。苦しい事もあったが色々な人と出会えたことが人生を豊かにしてくれたし、なにより無事に帰って来れたことに感謝したい。今年3月1日で75才、人間やる気になれば、できるものだ。

(富沢 佐竹直義)



剣岳の難所 カニのヨコバイ

お誕生おめでとう

| 区名 | 氏名 | 性別 | 父母名 |
|-----|--------|----|-------|
| 藤田 | 柏倉 拓海 | 男 | 浩治・由紀 |
| 9区 | 伊藤 花音 | 女 | 巨彦・千秋 |
| 市の沢 | 横山 湊 | 男 | 邦弘・亜樹 |
| 山崎 | 鈴木 羅依斗 | 男 | 隆之・千絵 |



ご冥福を祈ります

| 区名 | 氏名 | 年齢 |
|-----|--------|------|
| 9区 | 佐藤 秋雄 | (60) |
| 9区 | 稲村 千代夫 | (94) |
| 8区 | 兼子 秀夫 | (75) |
| 十八才 | 大泉 長雄 | (83) |
| 12区 | 井上 徳七 | (89) |
| 6区 | 堀 つる | (94) |
| 藤田 | 竹内 寛 | (55) |
| 9区 | 鈴木 太之助 | (87) |
| 9区 | 佐竹 ミツヨ | (90) |

人口と世帯(前月比)

| | |
|------|-------------|
| 町の人口 | 8,926人(-20) |
| 男 | 4,381人(-11) |
| 女 | 4,545人(-9) |
| 世帯数 | 2,926戸(±0) |

平成26年5月1日現在

戸籍の まど

3月21日～4月20日受付分